

パネルディスカッション2: 包摂的な復興の実現

インクルーシブな
地域防災復興計画策定に
向けて
障害女性の参画を

DPI女性障害者ネットワーク 代表
DPI日本会議 常任理事
自立生活センター神戸BEすけっと 事務局長

藤原久美子

①障害女性が直面する複合的 あるいは交差的な差別

(2012年発行「障害のある女性の生活の困難・複合差別実態調査報告書」より)

<性被害>

●義兄からセクシャルハラスメントを受けたが誰にも言えない。自分は自立できず家を出られないし、家族を壊せないから。あまりに屈辱で言葉にできないから。
(50歳代 視覚障害)

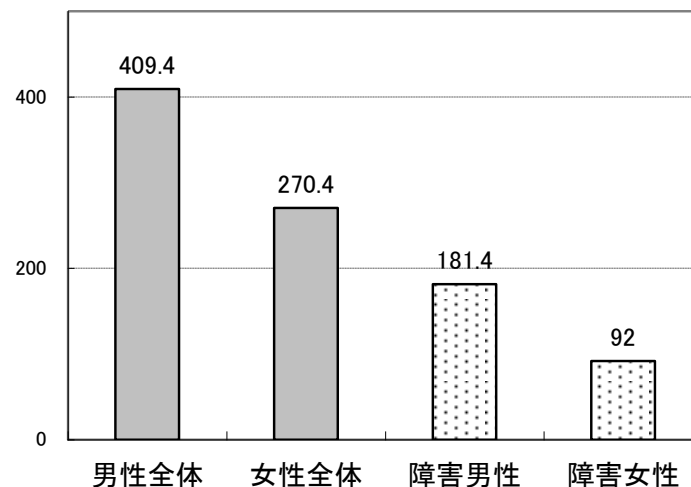
●かつて国立病院に入院中、女性の風呂とトイレの介助、生理パッドの取り替えを男性が行っていた。女性患者は皆いやがって同性介助を求めたが、体力的に女性では無理だと言われた。トイレの時間も決まっていて、それ以外は行かれない。トイレを仕切るカーテンも開けたままで、廊下から見えた。今も同様だと聞く。
(50歳代 難病 肢体障害)

複合差別の実態 障害者生活実態調査

- 障害者は男女共に就労率が低いですが、なかでも、障害女性の就労率は低い
- 障害者の間でも明確な男女の就労収入の格差が存在
- 収入の格差は、障害の有無によって開きがあるが、同時に、男女でも明確な違いがある
- 障害女性は経済状況が極端に脆弱

グラフ

単身世帯の年間収入 単位：万円
賃金、工賃、障害基礎年金、手当等も含む



②障害のある母親と幼い子どもの 悲劇が残した災害時の課題



（遥さん親子）

2018年7月・日本豪雨災害で犠牲となった、知的障害のあるシングルマザー・三宅 遥さんと5歳の娘・愛さん

③復興計画策定に女性であり障害者である人たちの視点を

「Nothing About Us Without Us」

(私たち抜きに

私たちのことを決めてはならない)